

教科	算数	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. つりあいのとれた図形を調べよう	13	・線対称な図形の意味、対称の軸、対応する辺、対応する点、対応する角、及び線対称な図形の性質や作図の仕方を理解し、作図ができるとともに、点対称な図形の意味、対称の中心、対応する辺、対応する点、対応する角及び、点対称な図形の性質や作図の仕方を理解し、作図ができる。 ・線対称な図形や点対称な図形の性質を調べたり、作図の仕方を考えたりする力を身に付ける。 ・身の回りから線対称な図形や点対称な図形を見つけたり、作図したりしようとする態度を養う。	・線対称や点対称な図形の意味、対称の軸や対称の中心、対応する辺、対応する点、対応する角、線対称や点対称の性質が分かり、指摘することができる。 ・線対称や点対称な図形の作図の仕方が分かり、作図できる。(知識・技能)	・基本的な図形について、線対称か点対称か調べ、説明できる。 ・正多角形について、線対称か点対称か調べ、判断し、説明できる。	・身の回りから線対称な図形や点対称な図形を見つけ、その安定性や美しさに気付くとともに、基本的な図形を線対称や点対称の見方で捉えようとしている。
2. 数量やその関係を式に表そう		・xなどの文字を使った式の表し方を理解し、立式し、計算によってxにあてはまる数を見つけて、問題を解決できるとともに、x、yなどの文字を用いて数量の関係を式に表すことができる。 ・問題場面の数量の関係を、文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする力を身に付ける。 ・文字を使って式に表すよさに気づき、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・xを用いた式のxにあてはまる数の求め方が分かり、xにあてはまる数を求めることができる。 ・数量の関係をx、yの文字を用いた式の表し方が分かり、x、yの文字を用いて式に表すことができる。	・数量の大きさをxを用いて立式し、問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 ・数量の関係を、x、yの文字を用いた式に表す仕方を考え、表現し、説明できる。 ・x、yを用いて表された式から、場面を考え、表現できる。 ・未知数をxとして式に表し、問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。	・未知数をxとして式に表すこと、数量の関係をx、yの文字を用いて式に表すよさが分かり、問題解決に活用しようとしている。

3. 分数のかけ算を考えよう	14	・分数×整数, 分数÷整数, 分数×分数の意味と立式, 計算の仕方を理解し, 計算できるとともに, 分数のかけ算でも計算のきまりが成り立つことを理解し, 計算の工夫ができる。 ・分数×整数, 分数÷整数, 分数×分数の計算の仕方を考えたり, 計算のきまりを見つけて計算の工夫をしたりする力を身に付ける。 ・分数×整数, 分数÷整数, 分数×分数の計算に習熟し, 問題の解決に活用しようとする態度を養う。	・分数×分数, 整数×分数の意味と立式, 計算の仕方が分かり, 計算できる。 ・分数の場合にも, 計算のきまりが成り立つことが分かり, それを用いて計算の工夫ができる。 ・逆数の意味が分かり, 整数や小数, 分数の逆数を求めることができる。	・既習事項を基にして, 分数×分数, 整数×分数の計算の仕方を考え, 計算し, 説明できる。 ・分数の場合でも計算のきまりが成り立つか調べ, 表現し, 説明できる。	・分数×分数の計算の練習をし, 手際よく計算できるようにしているとともに, 計算のきまりを使って計算の工夫をしようとしている。
4. 分数のわり算を考えよう	8	・分数÷分数, 3口の分数のかけ算とわり算の混じった計算, 分数と小数と整数の計算の意味と立式, 計算の仕方(逆数を用いて分数×分数にする)を理解して計算できる。 ・分数÷分数, 3口の分数かけ算とわり算の混じった計算, 分数と小数と整数の計算の仕方を考えたりする力を身に付ける。 ・分数÷分数の計算の習熟し, 問題の解決に活用しようとする態度を養う。	・分数÷分数の意味と立式, 計算の仕方が分かり, 計算できる。 ・整数÷分数を, 分数÷分数に直して計算する仕方が分かり, 計算できる。 ・3口の分数のかけ算やわり算が混じった計算の仕方が分かり, 計算ができる。 ・分数と小数と整数の混じった計算の仕方が分かり, 計算ができる。	・既習事項を基にして, 分数÷分数の計算の仕方を考え, 計算し, 説明できる。 ・既習事項を基にして, 整数÷分数, 3口の分数のかけ算やわり算が混じった計算, 分数と小数と整数の混じった計算の仕方を考え, 工夫して計算し, 説明できる。	・分数÷分数の計算を練習し, 手際よく計算しようとしている。

5. 割合の表し方を調べよう	9	・比の意味や表し方, 比は割合の表し方の一つであること, 比の値と求め方及び比の相等関係を理解し, 整数や小数, 分数で表された比を簡単な整数の比に直すことができるとともに, 比の性質を活用して問題を解決できる。 ・数量の關係に目を付け, 図や式などを用いて数量の關係の比べ方を考え, 比を活用して問題解決をする力を身に付ける。 ・比の性質を活用して, 生活や学習の中で問題を解決しようとする態度を養う。	・比の値の意味と求め方が分かり, 比の値を求めることができる。 ・比の性質, 等しい比, 比を簡単にする意味が分かり, 整数や小数, 分数の比を簡単にする仕方が分かる。また, 大きさの等しい比を判断したり, 作ったり, 比を簡単にすることができる。 ・等比關係や比例配分が分かり, 問題が解決できる。	・2つの数量の割合の表し方を考え, その割合が比を用いて表せることに気づき, 表し, 説明できる。 ・大きさの等しい比の見つけ方や作り方を考え, 見つけたり作ったりし, 説明できる。 ・比の性質を活用して, 比を整数の簡単な比にする仕方を考え, 表現し, 説明できる。 ・比の考えを用いて問題の解決の仕方を考え, 解決し, 説明できる。	・比や比の値, 等しい比, 比のよさが分かり, これらを生活や学習の中の問題解決に活用しようとしている。
6. 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	9	・拡大図や縮図の意味や性質, かき方を理解できるとともに, 縮尺の意味と表し方, 縮図や地図の実際の長さの求め方を理解し, 縮図を利用した測定の工夫ができる。 ・拡大図や縮図のかき方, 縮図の実際の長さの求め方を考え, それを利用して測定を工夫する力を身に付ける。 ・拡大図や縮図のよさが分かり, 生活や学習の中で生かそうとする態度を養う。	・拡大図や縮図のかき方が分かり, かくことができる。 ・縮尺の意味と表し方が分かり, 縮図と縮尺を使って, 実際の長さの求め方が分かる。 ・縮図と縮尺を使って, 縮図や地図の実際の長さを求めることができる。	・拡大図と縮図について, 元の図形との対応する辺の長さ, 対応する角の大きさの關係を調べ, 特徴を説明できる。 ・縮図を利用して, 実際の長さや高さの求め方を考え, 説明できる。	・身の回りで, 拡大図や縮図を見つけ, 使われている場面に気づき, 既習事項や性質を基に拡大図や縮図のかき方を考えようとしている。 ・生活や学習の中で, 縮図や地図を利用して, いろいろなところを測定したり, 問題を解決したりしようとしている。

7. 円の面積の求め方を考えよう	7	・円の面積の求め方と公式を理解し、円の面積の公式を活用しておうぎ形や円を含む複合図形の面積が求められる。 ・既習の基本図形の面積の求め方に帰着させ、円の面積の求め方を考え、それを公式にまとめる力を身に付ける。 ・円を等分割して基本図形に並べ替えるなどの活動を通して、円の面積の求め方を考えようとする態度を養う。	・円の面積の求め方と公式が分かる。 ・公式を用いて円の面積を求めることができる。 ・おうぎ形や円を含む複合図形の面積の求め方が分かる。 ・円の面積の公式を用いて、おうぎ形や円を含む複合図形の面積を求めることができる。	・円を等分割して基本図形に並べ替え、円の面積の求め方を考え、求め、説明できる。 ・円の面積を求める公式をまとめ、説明できる。 ・おうぎ形や円を含む複合図形の面積の求め方を考え、求め、説明できる。	・円を等分割して基本図形に並べ替え、円の面積の求め方を考えようとしている。 ・円の面積の公式を用いて、おうぎ形や円を含む複合図形の面積を工夫して求めようとしている。
8. 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	6	・角柱や円柱の体積の求め方と公式を理解し、公式を用いて体積が求められる。 ・既習の基本図形の体積の求め方に帰着させ、角柱や円柱の体積の求め方を考え、公式にまとめる力を身に付ける。 ・生活や学習の中で、公式を活用して角柱や円柱の体積を求めようとする態度を養う。	・公式を用いて角柱や円柱の体積を求めることができる。	・直方体の体積の求め方を基にして、角柱の体積の求め方を考え、公式にまとめ、求め、説明できる。 ・前時までの学習を基にして、円柱の体積の求め方を考え、公式にまとめ、求め、説明できる。	・角柱や円柱の体積に関心を持ち、生活や学習の中で公式を活用して求めようとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区南葛西第三小学校

9. およその面積と体積を求めよう	6	・身の回りの形のおよその面積や体積が求められる。 ・身の回りの形の構成する要素や性質から面積や体積の求め方を考える力を身に付ける。 ・既習の面積や体積の求め方を基に、身の回りの形の面積や体積を求めようとし、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・身の回りの形のおよその面積や体積の求め方が分かり、およその面積や体積を求めることができる。	・身の回りの形をおよその基本的図形とみて、およその面積の求め方を考え、求め、説明できる。 ・身の回りの形をおよその角柱や円柱とみて、およその体積の求め方を考え、求め、説明できる。	・身の回りの形を、およその基本図形や、およその角柱や円柱とみて、およその面積や体積を求めようとしている。
10. 比例の関係を詳しく調べよう	16	・比例の意味や比例する2つの数量の変化と対応の関係について理解し、式やグラフに表し、特徴を捉えることができるとともに、反比例の意味や反比例する2つの数量の変化と対応の関係について理解し、式やグラフに表し、特徴を捉えることができる。 ・伴って変わる2つの数量の関係に目を付け、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現したり、変化や対応の特徴を見つけたりする力を身に付ける ・比例や反比例の関係を活用して、生活や学習の中の問題を解決しようとする態度を養う。	・比例や反比例の関係を式やグラフに表せ、表や式やグラフから比例関係や反比例関係を読み取ることができる。	・2つの数量の関係を調べ、比例の関係や反比例の関係を見つけ、説明できる。 ・表や式、グラフから比例や反比例する2つの数量の変化や対応のきまりを見つけ、表現できる。 ・比例や反比例の関係をを使って、問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。	・生活や学習の中で、比例や反比例の関係になっている場面を見つけ、その性質や式とグラフを問題の解決に活用しようとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区南葛西第三小学校

11. 順序よく整理して調べよう	7	・並べ方の場合の数を表や樹形図などを用いて、落ちや重なりのない調べ方を理解し、それらを使って問題の解決を筋道立てて考えることができるとともに、物の組み合わせの数について落ちや重なりのない調べ方が理解でき、これらを活用して問題の解決ができる。 ・事象の特徴に目を付け、落ちや重なりなく調べる方法を考え、それを活用して問題を解決する力を身に付ける。 ・生活や学習の中で、並べ方と組み合わせの考えを使おうとする態度を養う。	・表や図などを用いて、並べ方の場合の数や組み合わせの数を落ちや重なりなく調べる方法が分かり、調べることができる。	・表や図などを用いて、並べる場合の数や組み合わせの数を順序よく整理し、筋道立てて考え、説明できる。	・生活や学習の中で、並べ方の場合の数や組み合わせの数を調べ、問題解決に活用しようとしている。
12. データの特ちょうを調べよう	14	・資料の特徴を表す代表値(平均値、最頻値、中央値など)の意味を理解し、データを整理したドットプロットや度数分布表の表し方や読み方、階級、度数を理解し、作成し、読み取ることができるとともに、柱状グラフの読み方やかき方を理解し、かくことができる。 ・データの特徴や傾向に目を付け、代表値などを用いて問題の結論について判断したり、妥当性があるか考えたりする力を身に付ける。 ・生活や学習の中で度数分布表や柱状グラフを活用して、資料の特徴を捉えようとする態度を養う。	・代表値(平均値、最頻値、中央値、最小の値、最大の値など)の意味が分かり、資料の特徴を読み取ることができる。 ・資料を度数分布表に表す仕方や、階級と度数の意味が分かり、かいたり、読み取ったり、比べたりできる。 ・柱状グラフの意味や代表値などを用いて傾向や特徴の読み取り方が分かり、読み取ることができる。 ・柱状グラフをかくことができ、資料の傾向や特徴を捉えることに活用できる。 ・複数の柱状グラフを用いて、2つの資料の傾向や特徴の比べ方が分かり、比べることができる。	・代表値に着目して、資料の傾向や特徴を調べ、捉え、表現し、説明できる。 ・散らばりに着目して、資料の傾向や特徴を調べ、捉え、表現し、説明できる。 ・柱状グラフから資料の傾向や特徴を調べ、表現し、説明できる。 ・複数の柱状グラフを用いて、2つの資料の傾向や特徴の比べ方を考え、比べ、説明できる。	・生活や学習の中で、代表値や散らばりの観点から資料の傾向や特徴を捉えようとしている。 ・生活や学習の中で、柱状グラフに表して、資料の傾向や特徴を調べようとしている。